

日頃から車椅子ダンスボランティア「矢車草」と一緒に、ゆいの里で車椅子ダンスの練習をしています。今日は、市民ホールの発表会に参加して、練習の成果を発揮する事ができました。

トピックス

皆で一緒に深めよう広めよう福祉の輪 …… P2～P3
創立者記念「ゆいの日」、みんなで集めよう！ …… P4
福祉ガールズ&ボーイズ 新しい仲間です！
ゆいの里訪問介護ステーション …… P5

平成25年度事業報告・決算報告 …… P6～P7
認知症を知る、ゆいの里認知症出前講座
おいしいね、健康ワンポイントアドバイス
編集後記 …… P8



皆で一緒に深めよう 広めよう 福祉の輪



----- 地域の皆様とのかかわりの中で -----

音楽ボランティアさん



音楽ボランティアさんと一緒に住人様も歌を唄い、歌詞カードを目で追いながら昔の歌にまつわる思い出を懐かしんでおられる様子が伺えます。普段は余りお話しをされない方も大きな声で生き生きと唄われます。

手仕事の会さん



手仕事の会さんは、住人様と一緒に色鮮やかな糸を使って「花ふきん」を繕って下さっています。普段、細かい作業をされると手元が振えてしまわれる住人様も、縫い物になると、とても落ち着かれ丁寧に繕って下さいます。ボランティアさんからも「さすがですね、昔から、器用にされていたんですね。」と声を掛けて頂きながら、生き生きと作業される姿は、自信や喜びが自然に溢れ、心が満たされておられるように感じられます。



ー ボランティアさんお一人お一人の関わりが、こんな大きな力になっています! ー

音楽療法

懐かしい歌や音楽を聴いたり、歌ったり・演奏して楽しむことで不安やストレスを軽くしたり、記憶力が良くなったり活動が活発になります。

運動療法

太陽の光を浴び季節を感じながらの散歩は、心身の安定を図り睡眠障害の改善にもつながります。無理なく動く事で、身体機能の低下予防にもなります。

作業療法

昔の事を思い出しながらの作品作りや手作業、作品が仕上がると達成感や満足感が得られ自然と毎日の活動意欲が高まります。

これからも、ボランティアさんの支援を頂きながら、ますます住人様の個性が発揮出来るように取り組んでいきたいと思ひます。

お散歩ボランティアさん

毎年春と秋の過ごしやすい季節に、住人様と一緒に散歩に出かけて下さっています。

散歩に出かけることで、草花や風などの季節感を直接肌で味わって頂いたり、いつも見ている景色と全く違った景色が広がって気分転換がはかれたり、少人数で1対1の関わりができ、普段聞かれないような想いなどをゆっくりと聞くことができるよい機会となっています。

ご協力くださっている散歩ボランティア「翔の会」さんは、平成4年から現在まで20年余り活動しておられます。メンバーの方々は、喫茶ボランティアとしてもご活躍下さっています。ちなみにボランティアを始めたきっかけはゆいの里での出会いがご縁だそうです。

「住人さんの喜ぶ笑顔を見ると、自分も誰かのお役に立てていると感じられて、今まで続けてこられたように思います。」とお話くださいました。



湖の風 ハーモニカボランティアさん

2か月に1回来て下さいます。ギター、ハーモニカを演奏して下さりそれに合わせて住人様が歌を歌います。

始める前に、1曲1曲その歌にまつわる話もして下さり、住人様だけでなく職員も一緒に『へえ〜そうなんやあ』と聞き入っています。

ギターとハーモニカの心地よい音色にいつもうっとりしています。



引き続きボランティアさん募集中!! 詳しくはゆいの里までお問い合わせください。

----- 日々のケアの中から -----

さいのう 脳ケア

グループホームゆい

グループホームゆいでは、毎日『彩脳(さいのう)ケア』という取り組みを行っています。

『彩脳ケア』とは30分くらいを目安に、写経を行い字を書く機会をもうけたり、今いる場所、現在の時間、日付を認識して頂く事で、認知症になると現れやすい、見当識障害を軽減させるために始めた取り組みの事です。

【見当識障害とは、今いる場所がどこであるか、または今は何月何日、何曜日であるのかなどの場所や時間、さらに自分のことや周囲の人達のことの分かりにくくなることを言います】

その症状を少しでも軽減するために主に行っている事は『ここは守山市何町ですか?』『今日は何月何日何曜日ですか?』『今何時ですか?』『今日は朝ごはん食べましたか?食べた方は何を食べましたか?』『今の季節はなんですか?』といったことを毎日尋ねて書いていただくことです。

このケアを行っていくにつれ、はじめは日付を気にせずにご過ごされ尋ねても『わからない』と答えておられた方々が、日を追うごとに自分自身で、新聞の日付を確認されたり、リビングにある日めくりカレンダーに目を向けられるようになりました。

他にも、絵を描いていただいたり、色塗りをして頂いています。これは認知症になると現れやすい判断力の低下を軽減させたり、『ここにはこの色を』『この線から出ないように塗らなければいけない』等、『考える』といった行為が認知症の進行を遅らせる効果があるとされている事に取り組んでいます。



回想法

ゆいの里特養

五感に働きかけるアプローチ



父の日に居酒屋開店!!

父の日に居酒屋を開店し、いつも寡黙な男性住人様をご招待しました。普段は見られないほどの穏やかな笑顔が見られ、色々なお話しを聞かせて頂きました。子育てやお仕事をされていた頃などご本人の生活史と一緒に振り返り、明日からの生活での自信回復と住人様同志の交流も深まりました。職員も日常生活の中でのケアに活かせる情報が発見できました。

回想法は、過去の懐かしい思い出を語り合ったり、誰かに話したりすることで脳が刺激され精神状態を安定させる効果が期待できます。

口腔ケア

誤嚥性肺炎や口臭予防の為に、食前の嚥下体操と食後の口腔ケアを実施しています。食事前には、飲み込みがスムーズに行えるように嚥下体操を実施しています。



また、食後の口腔ケアでは、歯磨きを実施しています。うがいをすることが難しい住人様には、歯磨きティッシュ(上記写真)を使用して介助により行っています。口腔ケアは、口の中を清潔にするだけでなく、歯や口の中の疾患を予防し、口腔の機能を維持することで、食べる意欲の改善、栄養状態の改善、認知機能の維持・回復、誤嚥性肺炎の予防につながります。



これからも、より食事を楽しんで頂き、お元気に過ごして頂くために、口腔ケアを継続していきたいと思ひます。



今まで、色々な方に支えられてきました。今度は自分が支える番だと思います。
グループホーム勤務 一柳 美恵子



地域の方との交流がパワーの源です。
守山デイ勤務 山本 友希



利用者様の笑顔が、自分自身の笑顔につながっています。
特養・別館勤務 中村 沙織



祖母のお世話をして下さったヘルパーさん。その姿を見て将来の仕事が決まりました。
特養・別館勤務 中留 博美



福祉ガールズ & ボーイズ

新しい仲間です



福祉とは、人に笑いを届ける仕事と日々感じています。
特養・別館勤務 横内 孝志



小学校の頃に夢見た仕事、今はその願いが叶いました。
特養・別館勤務 南 優香



覚えることも多いけど、笑顔をもらい頑張っています。
特養・本館勤務 子安 奈美

シスター役

ゆいの里では、新人職員をサポートする職員が各部署に配置されています。



ゆいの里に就職して2年目となり、今年度は新人職員さんの「相談役」に任命されました。介護の知識が全くなかった私ですが、そんなゼロからスタートした私だからこそ力になれることもあると思います。
2年目 特養・別館勤務 寺井 千加

ゆいの里訪問介護ステーション 住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために...

平成24年5月にオープンし、今年で2年が経ちました。ヘルパーが訪問し、他のサービスと連携することで、在宅での一人暮らしが困難だと思われていた方が生活リズムを取り戻し、一人暮らしを続けることができたり、末期がんの方が趣味や友人との交流を続けながら、家族と共に在宅での生活をされています。ゴミの分別や掃除ができず、意欲をなくしておられた方もヘルパーが訪問し、一緒に行くことで意欲が出て、自らゴミの分別をされるようになりました。

メンバーが10名に増えました



訪問中はご利用者様と1対1でじっくりかかわることができ、様々な変化を間近で感じる事ができます。ご利用者様がかけてくださる「来てくれたんか」「あんたが来てくれると楽しいわ」「また来てね」という言葉と笑顔が私たちヘルパーのパワーの源です。

「いつまでも自宅で暮らしたい」という思いを支えるために、私たち一人一人が成長していきたいと考えていますので、よろしくお願致します。

土曜日営業開始しました



5月28日 創立者記念 ゆいの日

第2回 ゆいの日によせて

《ゆいの里基本理念》

「ゆいの心とは相互扶助。お互いを認め、活かし、思いやりをもって手を結ぶ、あたたかいところ。私たちは、ゆいの心で地域に根ざし、社会に貢献します。」

5月28日は、故廣田先生の思い出の日であると共に、私達ゆいの里の職員が「ゆいの心の原点」に戻ることを心に刻む日です。スクリーンに映し出された故廣田先生のお顔を拝見しながら、基本理念を思い起こし、厳しくもあり、あたたかい理念に包まれて仕事ができることに改めて感謝しました。

ゆい福祉基金より表彰

速野学区サロン、中洲学区サロン、小津学区サロン、笠原しょうぶサロン、金森自治会サロン、鳩の森いきいきサロン、美崎自治会サロン、山賀自治会サロン

次に、守山市の高齢者サロンは、開始より20余年の歴史がありますが、今年は高齢者サロンを何よりも大切に思いサロンを継続して下さっている、上記8団体様をゆい福祉基金より表彰させていただきました。ゆいの里は、このように地域で積極的に活動されている皆様から多くの事を学ばせていただいています。ゆいの里から参加させていただいている職員や栄養士に「今日のお弁当美味しかったよ」「また、来月もよろしくね。」という言葉をいただくと、私達も頑張ろうという気持ちになります。これからもゆいの里の中にとどまらず、皆様と一緒に地域福祉の支援をさせていただきたいと思ひます。

後半は、「地域で共に支え合う認知症ケア」というテーマで、西村優子先生による記念講演を開催しました。「認知症が病気である」ことが理解されなかったために事件に巻き込まれたり、地域社会の中での生活がしにくくなっているという現実が身近にあります。「認知症の方の介護は家族が行う」という認識を打ち破る形で、社会で支える介護保険制度が出来ましたが、制度だけでは追いつかず、今は地域全体で支援するようという「古くもあり、新しくもある流れ」が必要になっています。

講演では、実際に地域の力を発揮し、認知症の方とご家族様を支える事が出来た事例を交えながら、お話しして下さいました。ゆいの里でも、その一助となるように「ゆいの里認知症出前講座」をスタートしております。是非、地域の皆様に活用していただけたらと思います。

西村先生のお話と同時進行でゆいの里の住人様、デイサービスのご利用者様、グループホーム・ケアハウスの入居者様、本日まで参加いただきました地域の皆様、そしてゆいの里の職員が順次ケアハウスの食堂にて、ひだまりさんのお手伝いにより温かいコーヒーとお手製のかわいいケーキで喫茶を楽しみました。ゆいの日は「ゆいの心」と皆様の笑顔でいっぱいとなりました。ありがとうございました。



みんなで集めよう！小さな社会貢献活動

ゆいの里では、施設内や地域の皆さまと共に数々の貢献活動に取り組んでいます。

ベルマーク

グループホームでは地域のつながりを集めるために、ベルマークを集めています。施設内だけでなく、職員や家族にも協力をお願いしています。そのおかげでたくさんベルマークを集める事ができました。

先日、その集まったベルマークを速野幼稚園に寄付するため入居者様と一緒に「お邪魔させてくださいました。お礼にと元氣よく歌って下さり、『また、がんばって集めよう』と入居者様も張り切っておられました。

プルトップ

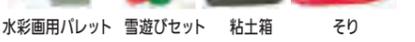
ケアハウスではアルミ缶のプルトップを集めています。きっかけはご入居者様ですが、プルトップを集めている事を知った職員等が持ち寄りになりました。

集まったプルトップは新聞販売店さんにお渡しし、再資源化したお金で車椅子を購入し、地域の施設等に寄付するという流れになりました。一つ一つは小さなプルトップですが、皆様の善意が車椅子となってどこかで役に立っています。

ペットボトルのキャップ

普段何気なく飲んでるペットボトル飲料。そのキャップが人の役に立つことをご存知でしょうか？「ペットボトルのキャップでワクチンを！」という言葉を目にした方も多々ありますが、ペットボトルのキャップ約860個で、子ども1人分のワクチン代(20円)になるそうです。その他には植木鉢やそり、水彩画のパレットなどの原料としても再利用されています。

ご協力ください いつでもお気軽にお持ちください。



- ◆**実習等受入数** 実習・体験受入数 108名
 実習受入 社会福祉士、介護福祉士、看護師、初任者研修 21回 81名
 体験学習等受入 体験学習11回 24名、他施設研修3回 3名

- ◆**ボランティア活動**
 ボランティア登録数及び延べ人数 登録数：60グループ 年間延べ数1,716名

- ◆**職員研修状況**
 園内研修延べ回数 22回/年 参加延べ人数 806名/年
 園外研修 参加延べ人数 231名/年
 階層別研修 参加延べ人数 92名/年

平成25年度 決算報告

自：平成25年4月1日 至：平成26年3月31日
 (単位：千円)

貸借対照表

資産の部	
流動資産	516,404
固定資産	2,003,784
(基本財産)	1,598,248
(その他固定資産)	405,536
資産の部合計	2,520,188

負債の部	
流動負債	93,899
固定負債	180,259
負債の部合計	274,158

純資産の部	
基本金	437,122
国庫補助金等特別積立金	766,211
施設整備等積立金	175,000
次期繰越経常活動収支差額	867,697
(うち当期活動収支差額)	40,851
純資産の部合計	2,246,030
負債及び純資産の部合計	2,520,188

事業活動計算書

収入の部	
介護保険事業収益	749,634
老人福祉事業収益	84,146
経常経費寄付金収益	415
その他収益	2,673
サービス活動収益計	836,868
受取利息配当金収益	217
その他サービス活動外収益	7,121
サービス活動外収益計	7,338
施設整備等補助金収益	2,236
固定資産受贈額	350
特別収益計	2,586
収益の部計	846,792

支出の部	
人件費	502,013
事業費	140,337
事務費	92,794
利用者負担額増減額	733
減価償却費	76,435
国庫補助金等特別積立金取崩額	-35,974
サービス事業活動費用計	776,338
支払利息	674
その他サービス活動外費用	5,542
サービス事業活動外費用計	6,216
固定資産売却損・処分損	44
国庫補助金等特別積立金積立額	2,236
その他の特別損失	21,107
特別費用計	23,387
費用の部計	805,941
当期活動増減差額	40,851

平成25年度 事業報告

◆ 総 括

- I. 利用者中心のサービス提供
 1. 利用者と家族と職員がよい関係を築けるように家族会(特養[2回/年]・両デイ[3回/年]・グループホーム[2回/年])、茶話会(特養[5回/年])を開催した。
 2. 家族アンケートを実施・分析し、改善策を具体化した。
 3. 看取りの研修会等を開催して、施設での看取り家庭での看取りが安心して出来る様に努めた。
- II. 地域包括ケアに向けて在宅サービスを進める
 1. 訪問介護事業が定着し、連携をとりながら在宅支援を行った。
 2. ショートステイを増床し、緊急ショート(31件)に対応した。
- III. 認知症予防対策と地域貢献
 1. 認知症高齢者の増加に伴う認知症予防や家族介護のための出前講座の講師の派遣(9回)を行った。
 2. 法人主催介護予防教室を12回開催(参加者延べ296名)及び自治会サロン等への講師派遣(27回)を行った。
 3. 地域住民対象の料理教室を3回開催(延べ88人)
- IV. 職員の資質の向上
 1. 人材育成
 - 1)やる気アップを目標に据えた人事考課制度の評価表を完成した。
 - 2)新人6か月研修等の教育体制を整えた。また各事業に育成担当者を任命し、担当者は意欲的に教育にあたった。
 - 3)部署毎に、園内外・階層別研修の機会を多く提供し、外部研究発表も実施した。
 2. 人材確保
 - 1)マイナビによる見学会、福祉の職場説明会、福祉人材派遣紹介等により採用活動を行った。
- V. 安全管理の徹底
 1. 事業継続計画(BCP)の素案を作成した。
 2. 緊急時の役職者一斉メールを整備した。
- VI. 健全経営の確保
 1. 事業ごとに目標値をあげ法人運営の見える化に努めた。
 2. コンプライアンスの遵守のため自己点検表にて確認を行った。
- VII. その他
 1. 「福祉基金」を設立し記念事業を開催した。また、地域参加を得て「輪投げ大会」等の楽しい時間を共有した。

◆ 利用状況 ※各表は平成26年3月末現在のものです。

特別養護老人ホーム(定員100名) *H24.6月ユニット型特養開設 定員100名				ショートステイ(定員16名) *H24.11月定員12名から16名に増床			
年間入所平均数	95.4名	平均入院数	4.3名	年間延べ利用者数	5,930名	1日平均	16.2名
平均年齢	85.0歳	最高齢者	103歳	平均介護度	3.2		
平均介護度	3.5	年間入退所数	21名/20名				

デイサービスセンター						
守山デイサービスセンター(定員47名) *H25.1月定員15名【一般型デイ：ひまわり】開設	年間延べ利用者数	7,690名	1日平均	29.9名	平均介護度	2.0
幸津川デイサービスセンター(定員32名) *H24.6月定員32名、土曜営業実施	年間延べ利用者数	7,361名	1日平均	23.8名	平均介護度	3.0

グループホーム(定員18名)				ケアハウス(定員50名)			
年間延べ利用者数	6,481名	1日平均	17.8名	年間延べ利用者数	17,330名	1日平均	47.5名
平均年齢	89.5歳	最高齢者	95歳	平均年齢	83.1歳	最高齢者	98歳
平均介護度	2.1			要介護認定者	17名		

居宅介護支援事業所 *H24.12 ケアマネ1.5人増				訪問介護事業 *H24.5月開設 パート職員増			
年間給付実績件数	1,735件	月平均	144件	年間利用実績件数	2,898件	1日平均	11.3件
平均介護度	2.4			平均介護度	2.3		

守山市委託事業					
すこやかサロン	年間開催実績回数	27回	転倒予防教室	年間延べ利用者数	285名

認知症を知る



Q 認知症を予防することが出来ますか？

A 認知症、特にアルツハイマー病などの認知症は残念ながら発症を予防する事はできません。アルツハイマー病そのものは生活習慣病ではなく、根本原因がいまだに不明な神経難病です。最大の危険因子は「歳を取る事」です。男女とも80歳まで生きる事が普通になった今、誰もが自分の人生に認知症を患う可能性を考えておくべき時代なのです。

認知症に対する対策

早期発見、早期治療で
症状の進行を遅らせる



適切な治療・ケアで
症状を緩和させる

ご利用下さい

「ゆいの里認知症出前講座」

昨年の12月から、ゆいの里の職員が認知症についてご相談や研修会のお手伝いのために地域の皆様の所に伺っています。

デイサービスや特養で感動した話やグループホームでの逸話などを交えて、解りやすく楽しく聞くことが出来ると好評をいただいています。



健康を増進するため座ってできる体操やゲーム、脳トレーニングも合わせて体験していただけます。お気軽にお電話ください!!

■申し込み・お問い合わせ

ゆいの里地域連携室

☎077-584-2156 担当:白井

健康ワンポイントアドバイス

脱水は、夏場だけではなくありません。身体の中の水分や塩分が少なくなって起こる症状です。脱水が重度になると意識障害が起こります。**いつもより元気がない、食欲がない場合は要注意です。**水分が摂れない場合はすぐに受診をして下さい。

<早期発見のポイント>

- 1日を通して、水分がきちんと摂れていますか？
- 皮膚のカサツキがないですか？
- 口の中、舌が乾燥していませんか？
- 腋の下が乾燥していませんか？
- 下痢や嘔吐をしていませんか？

チェックしてみて下さい!!



おいしいね

簡単。さっぱり。

鮭ときゅうりの散らし寿司

材 料 (4~5人分)

- キュウリ…3本
- 鮭…2~3切れ
- 白ごま…適量
- いらり卵…3個
- 海苔…適量
- ☆酢…大さじ4
- ☆砂糖…大さじ2半
- ☆塩…小さじ1
- 米…3合



栄養士より

すし酢が90ccほどあれば簡単にできます。後は簡単混ぜるだけ。きゅうりの代わりに青しそと針しょうがを混ぜると大人向けの味付けになります。

【作り方】

- 1 米を洗い、少し少なめの水加減で炊飯する。
- 2 きゅうりを輪切りにし、塩を少しふりかけ、しんなりしたらキュウリを手でぎゅーと絞る。
- 3 塩鮭を焼いたのをほぐしておく。骨取り除く。
- 4 ご飯が炊けたら熱々のうちに☆を入れ、うちわで仰ぎながら混ぜ冷ます。
- 5 ゴマ、キュウリ、鮭を入れ混ぜ、いらり卵と、細かく切った紫蘇も混ぜたら出来上がり!

編集後記

日本は、たいへんなスピードで高齢化が進んでいます。団塊の世代が75歳以上となる、2025年以降は医療や介護を必要とする人がさらに増えると言われていています。今後、介護が必要になっても住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続ける事ができるよう、私たち一人一人が出来る事や、自治体や地域での取り組みについて話し合い考えていかなければなりません。今号は『広福号』と名付け、ゆいの里から地域に福祉を広くお伝えして、少しでも地域の皆さまのお役に立てるよう情報発信を続けていきたいと思ひます。

- ◆特別養護老人ホームゆいの里
- ◆ショートステイゆいの里
- ◆グループホームゆい

- ◆ゆいの里守山デイサービスセンター
- ◆守山市立幸津川デイサービスセンター
- ◆ゆいの里訪問介護ステーション

- ◆ゆいの里守山居宅介護支援事業所
- ◆ケアハウスゆい
- ◆守山市委託事業

社会福祉法人慈恵会 ゆいの里

TEL.077-585-4533

●代表 E-mail home@yuinosato.or.jp

〒524-0103 滋賀県守山市洲本町1番地

FAX.077-585-5675

●ホームページ <http://www.yuinosato.or.jp>



ホームページ

※写真の掲載許可はいただいております。※ご意見・ご感想は「ゆいの里」までお問い合わせください。

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています